

【熊本県県央広域本部委託事業】 企画コンペ提案用仮想コース

本書の仮想コース及び別添写真3点を使用し、A3判に実際のパンフレットサイズである182mm×182mmで表記のうえ、カラーでパンフレットのデザイン・レイアウトを行ってください。
原稿テキスト、写真は、必要に応じて追加いただいて支障ありません。

(タイトル) 水と風が織りなす熊本県央地域の絶景映えスポット巡り

甲佐町のやな場では清流に癒され、美里町の八角トンネルでは風が通り抜ける爽やかな感覚を楽しめます。さらに、長部田海床路では海風とともに、広がる海の絶景を堪能。自然の美しさが感じられる、リラックスできる旅路。どこも、ここにしかないとおきの、かっこいいスポットです。

到着	出発	行程	所在地	原稿テキスト
10:00		レンタカー	熊本市	
自動車 23km・50分				
11:00	12:00	やな場	甲佐町	やな場とは、竹で編んだ簀(す)に落ちてくる鮎を捕る梁(やな)漁をする場。甲佐のやな場は、加藤清正公が川狩りを楽しむために設置した茶屋を起源とし、その後代々の藩主が毎年とれたての落ち鮎を楽しみに来遊する場所として広く知られるようになりました。 旅の初っ端から、茅葺き屋根の風情あるあずま屋で刺身や塩焼き、大人の味のうるかなど、鮎料理はどれも絶品。情緒豊かな茅葺き屋根のあずま屋で、ゆったりと味わうことができます。 ★営業時間11:00～20:00(予約が確実)
自動車 4km・10分				
12:10	12:40	八角トンネル	美里町	1964年に廃線になった「熊延(ゆうえん)鉄道」の遺構。熊延鉄道は、熊本市と宮崎県延岡市を繋ぐ壮大な計画でした(実際は美里町(砥用町)まで28.6キロのみ開通)。 トンネルだったのかはよくわかっていませんが、八角形の中を列車が走り抜ける画が浮かぶ意匠は、この山奥に鉄道が走っていたことの確かな証拠です。鉄道ファンでなくても、トンネルを背景に写真を撮るだけで確実に映えます。中に入ると、ひんやりとした空気が流れ、涼しさが心地いい。
自動車 27km・45分				
13:30	15:00	長部田海床路	宇土市	干満差が激しい有明海ならではの風景を見ることができる長部田海床路。もともと、海苔養殖の漁師のために1979年に建設された海の道。潮が引くと海中から道が現れ、潮が満ちると道は海の中へ。約1km続く道には24本の電柱が並び、夕方～夜になると明かりが灯り幻想的な風景に。オススメは満潮と干潮の前後2時間の時間帯。風がなく穏やかな日の夕方なら、水面にシルエットが映り込むリフレクション絶景に。ちかくにはジンベエ像も
自動車 23km・50分				
16:00		レンタカー返却	熊本市	